

# 2025年5月期通期 決算報告

## シグマ光機株式会社

2025年 7月 17日 (木)

証券コード： 7713



 シグマ光機株式会社

# 目次

## 1. 2025年5月期通期 決算概要・2026年5月期通期見通し

取締役 管理本部長兼経理部長

石井 康之

## 2. 中期経営戦略・主要マーケット別2026年5月期通期見通し

執行役員 総務部長兼経営企画グループリーダー

本多 隆

## 3. 質疑応答

- 昨年度の当社工場被災からの反動増。一方、産業分野向けリピート品等に慎重な動き。
- 欧州・アジア地域向けが回復基調で推移。一方、米国地域等は設備投資意欲に慎重な動き。
- 人的投資の増加、工場稼働開始による減価償却費の増加等により減益。

【百万円】	FY23		FY24		FY25				
	実績	YoY	実績	YoY	実績	YoY	構成比	修正予算比(額)	修正予算比(率)
売上高	11,367	+9.8 %	11,213	△1.4 %	11,580	+3.3 %	100.0 %	+120	+1.1 %
営業利益	1,504	+4.6 %	1,178	△21.7 %	1,131	△4.0 %	9.8 %	△58	△5.0 %
経常利益	1,690	+4.7 %	1,349	△20.2 %	1,269	△5.9 %	11.0 %	△25	△2.0 %
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,493	+27.6 %	687	△54.0 %	986	+43.5 %	8.5 %	+16	+1.7 %
1株当たり 当期純利益	210円85銭		97円03銭		139円23銭		-		-
平均為替レート									
1USD	134.95円		144.40円		152.77円			150.00円	
1EUR	141.24円		156.80円		163.71円		-	160.00円	
1RMB	19.68円		20.14円		21.13円			20.50円	
1SGD	98.39円		107.46円		113.97円			110.00円	

## 2 セグメント別売上高・営業利益（連結）

### 売上高

【百万円】

製品区分	FY23	FY24	FY25		
	実績	実績	実績	構成比	YoY
要素部品事業	9,720	9,215	9,757	84.3 %	+5.9 %
光学基本機器製品(HW)	3,014	2,728	2,998	25.9 %	+9.9 %
自動応用製品(MS)	1,691	1,870	1,859	16.1 %	△0.6 %
光学素子・薄膜製品(OP)	5,013	4,615	4,899	42.3 %	+6.2 %
システム製品事業	1,748	2,088	1,920	16.6 %	△8.0 %
光学システム製品(SY)	1,748	2,088	1,920	16.6 %	△8.0 %
消去	△101	△90	△97	△0.8 %	-
合計	11,367	11,213	11,580	100.0 %	+3.3 %

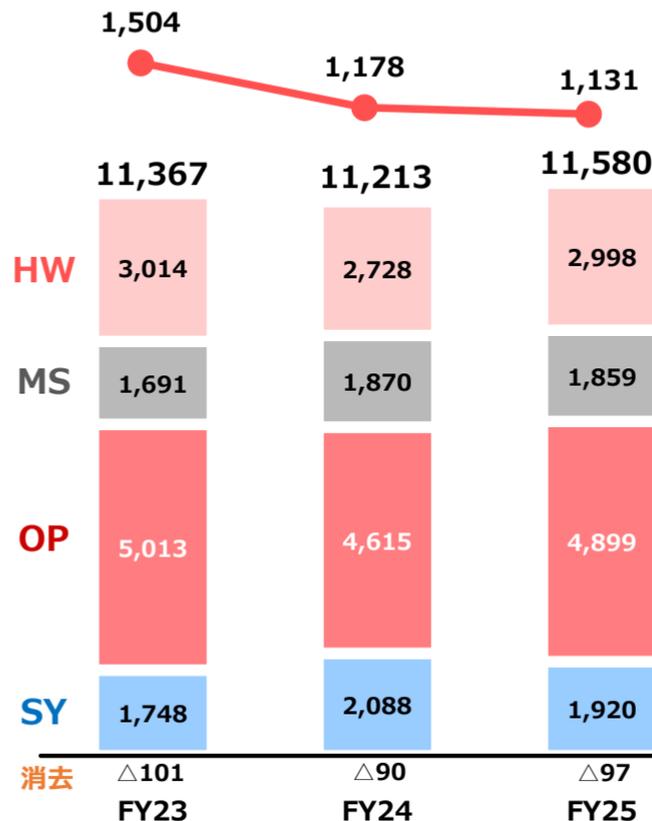
### 営業損益

【百万円】

事業区分	FY23	FY24	FY25	
	実績	実績	実績	YoY
要素部品事業	2,024	1,516	1,642	+8.3 %
システム製品事業	64	223	72	△67.4 %
消去	△585	△561	△583	-
合計	1,504	1,178	1,131	△4.0 %

● 営業損益  
■ 売上高

【百万円】



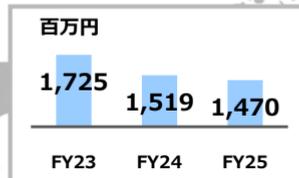
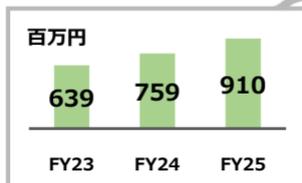
### 3 海外販売先別売上高（連結）

## ● 欧州・アジア地域の回復基調を背景に海外売上高増加+11.1%(YoY)

FY25'4Q  
海外売上高  
**4,082** 百万円  
海外売上高構成比率  
**35.3 %**

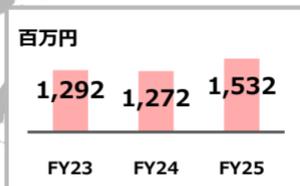
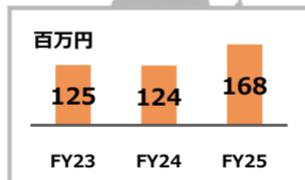
ヨーロッパ +19.9%(YoY)

アメリカ △3.2%(YoY)

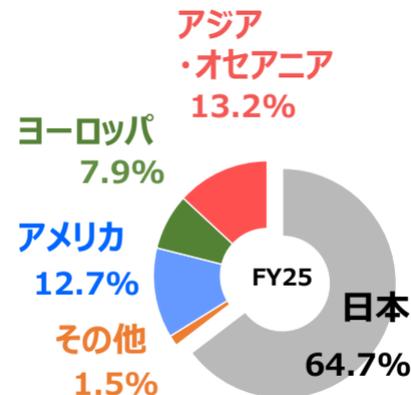


アジア・オセアニア +20.5%(YoY)

その他 +35.1%(YoY)



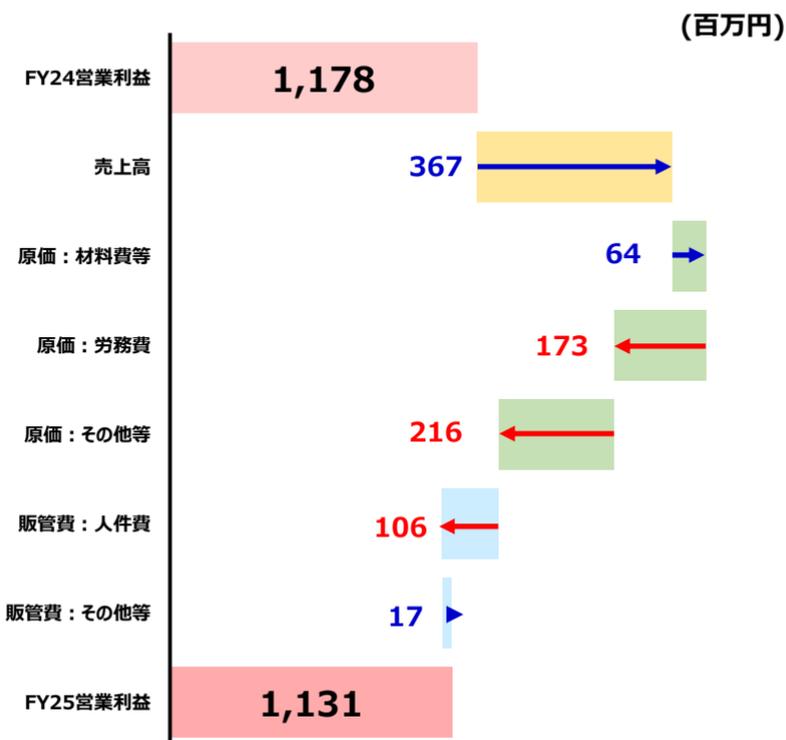
販売先別売上高構成比



平均為替レート

	FY23	FY24	FY25
1USDドル	134.95円	144.40円	152.77円
1ユーロ	141.24円	156.80円	163.71円
1人民元	19.68円	20.14円	21.13円
1SGD	98.39円	107.46円	113.97円

## ● 一部の海外向け回復等により増収も、人的投資の増加等により前年同期比47百万円の減益



### ■ 各項目の対前年比

(百万円)

#### 売上高： +367（利益増加）

- ・欧州・アジア地域が回復基調、光学基本機器製品が反動増
- ・光学システム製品が緩やかな回復基調、自動応用製品が軟調

#### 売上原価： +326（利益減少）

- ・材料費等：  $\Delta 64$   
在庫評価損の減少、製品ポートフォリオの改善等
- ・労務費： +173  
人員の増加及び賃金見直し等による人的投資の増加
- ・その他等： +216

昨年度の被災による在庫損傷の特損振り替えの影響の剥落、新工場棟の稼働開始による減価償却費の増加

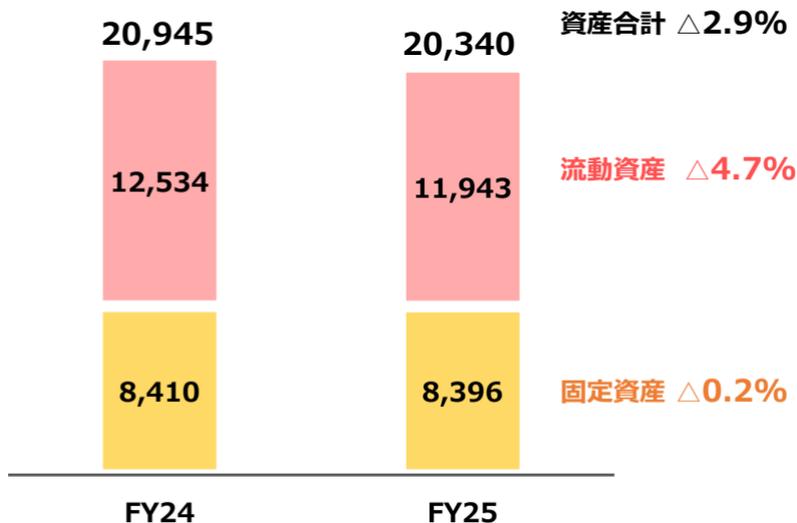
#### 販売管理費： +88（利益減少）

- ・人件費： +106  
人員の増加及び賃金見直し等による人的投資の増加
- ・その他等：  $\Delta 17$   
販売促進費・広告宣伝費の抑制、試験研究費・修繕費の一部先送り

- 自己資本比率は86.9%で安定推移。
- 電子記録債務・支払手形、災害損失引当金等がそれぞれ減少し、負債が減少。

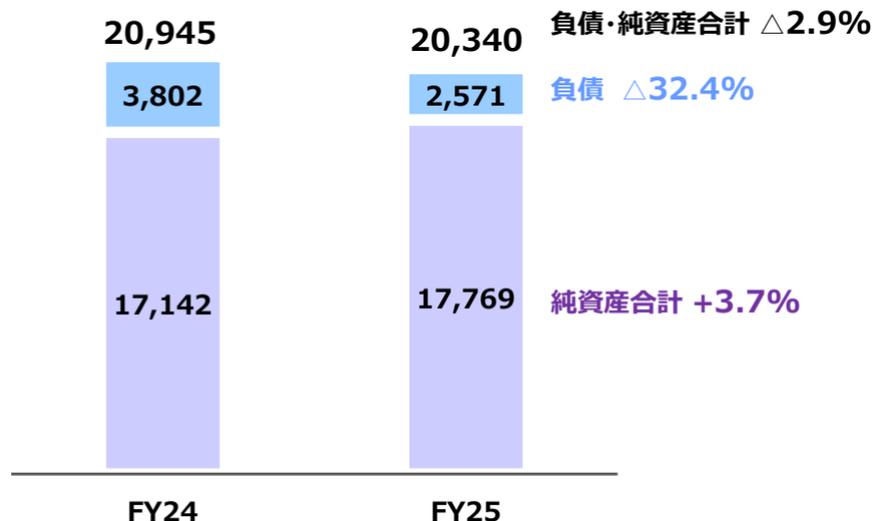
## 資産の部 / 増減率 (YoY)

(百万円)



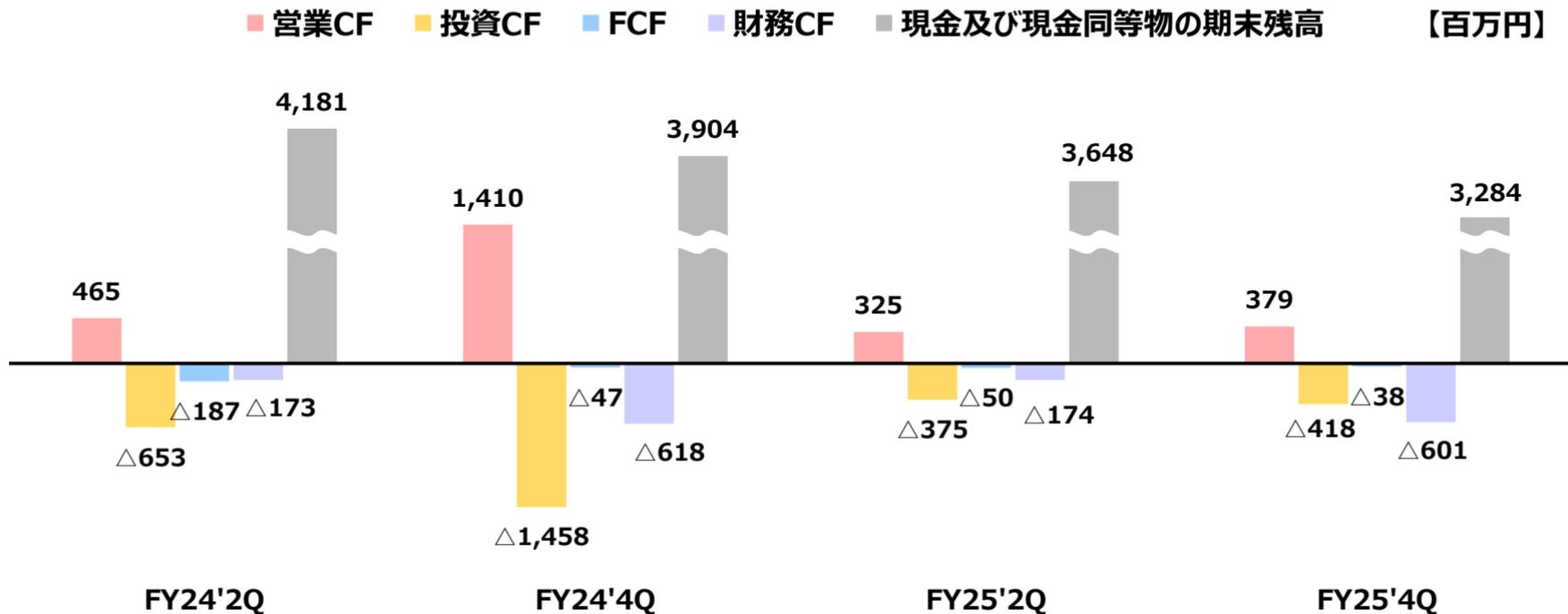
## 負債・純資産の部 / 増減率 (YoY)

(百万円)



## 6 キャッシュフロー概要（連結）

- 営業CFは仕入債務の減少、災害損失引当金の減少、売上債権の増加等による減少が発生。
- 投資CFは設備投資による減少が発生し、現金同等物の期末残高が減少。



- 世界経済の先行き不透明感が強まる中、一部の半導体業界等で徐々に回復の兆し。
- 人的投資として約6%の昇給も、製品ポートフォリオの改善等により営業利益は前年比増益。
- 昨年度の能登工場の新工場棟増築に係る助成金の剥落等により当期純利益は減益。

【百万円】	FY24		FY25		FY26					
	通期実績	構成比	通期実績	構成比	上期予算	下期予算	通期予算	構成比	YoY	YoY(%)
売上高	11,213	100.0 %	11,580	100.0 %	5,570	6,125	11,695	100.0 %	+114	+1.0 %
営業利益	1,178	10.5 %	1,131	9.8 %	475	745	1,220	10.4 %	+88	+7.9 %
経常利益	1,349	12.0 %	1,269	11.0 %	505	815	1,320	11.3 %	+50	+4.0 %
親会社株主に 帰属する 当期純利益	687	6.1 %	986	8.5 %	315	570	885	7.6 %	△101	△10.2 %
1株当り 当期純利益	97円03銭	-	139円23銭	-	44円47銭	-	124円96銭	-	-	-

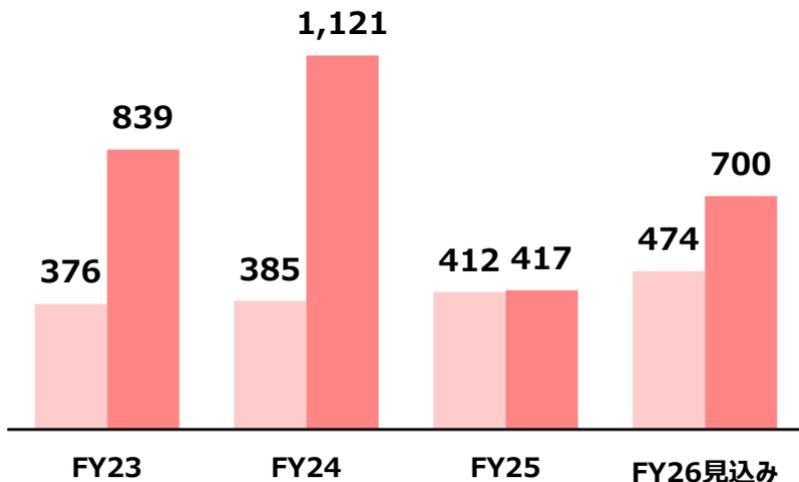
当期通期見込みの算定は、為替レート(期中平均)として1USドル=140.00円、111-ロ=155.00円、1人民元=19.50円、1SGD=108.00円で計算しております。

- 設備投資は高付加価値製品の生産設備への継続投資。
- 将来に向けた研究開発を継続。

## 設備投資・減価償却費

(百万円)

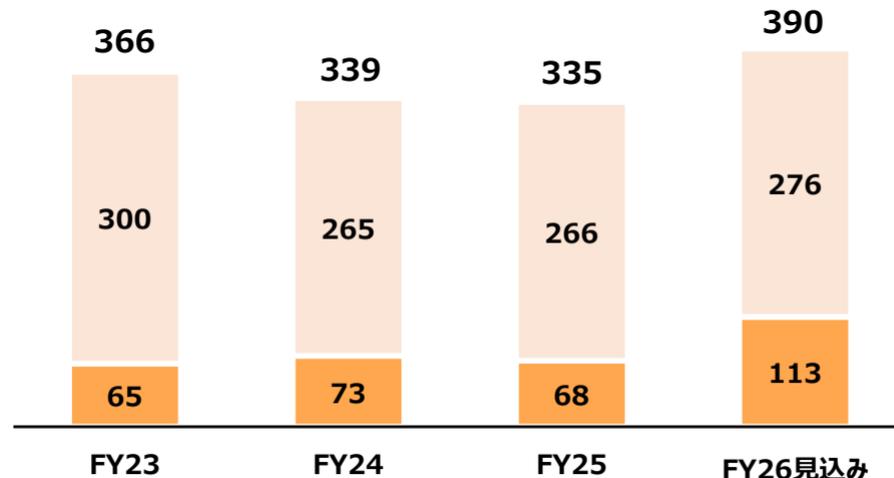
■ 減価償却費 ■ 設備投資



## 研究開発費

(百万円)

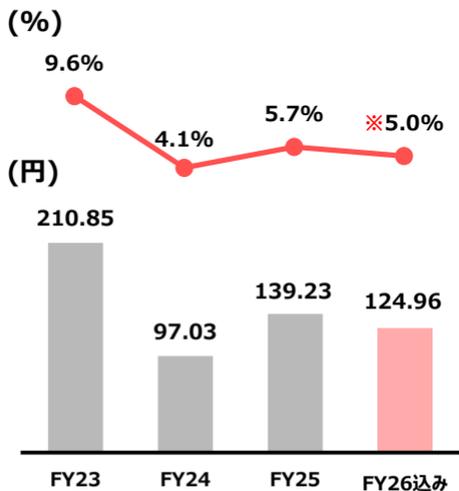
■ 部材費 ■ 人件費等



# 9 収益性・財務安定性・配当性向（連結）

- 将来の成長に向けた先行投資により純資産が増加
- 配当性向33.6%の安定配当を維持。

## 自己資本利益率(ROE) / 1株当たり純利益(EPS)



※FY25'4Q時点の自己資本額を元に試算しております。

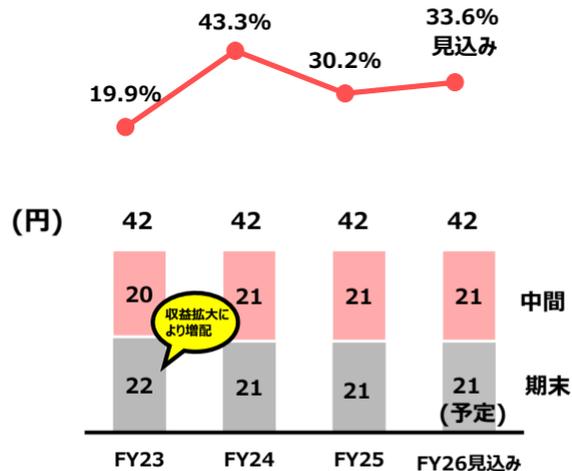
## 財務体質

(百万円)

	FY24	FY25
自己資本比率	81.4%	86.9%
利益剰余金	10,725	11,414
純有利子負債	△3,024	△2,926

## 配当性向・配当額

(%)



# 目次

## 1. 2025年5月期通期 決算概要・2026年5月期通期見通し

取締役 管理本部長兼経理部長

石井 康之

## 2. 中期経営戦略・主要マーケット別2026年5月期通期見通し

執行役員 総務部長兼経営企画グループリーダー

本多 隆

## 3. 質疑応答

## 経営理念

# 「光産業を通じ、社会に貢献します」

## 中期経営戦略の4つの柱

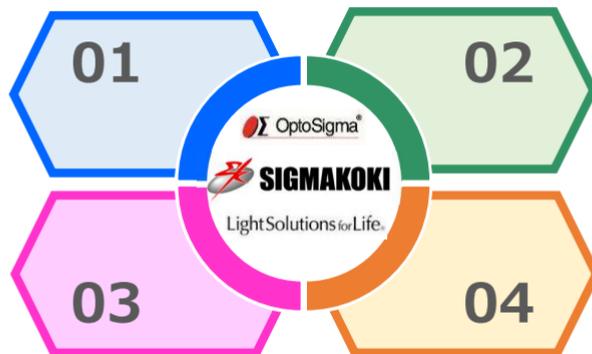
売上高100億円の先（Next Stage）に向けて、中期経営戦略の4本柱を推進

### 成長戦略

新市場開拓 & 既存事業深耕

### 事業継承

次世代経営幹部・中核人材の育成



### ビジネスモデル変革

マーケットを絞った独自製品の展開

### 社会貢献

Light Solutions for Life®

## 成長市場向け展開強化及び各産業用途製品・装置への挑戦により、更なる高付加価値体質へ

### 成長戦略

#### ①新市場・成長市場向けの展開強化



⇒量子関連特注品の規格品化を推進

⇒各種成長産業から引き合い・需要増加中

#### ②既存事業の継続成長



### ビジネスモデル変革

- ①特定マーケット向けオリジナル製品の企画&開発&生産
- ②専門企業とのコラボレーション企画&開発

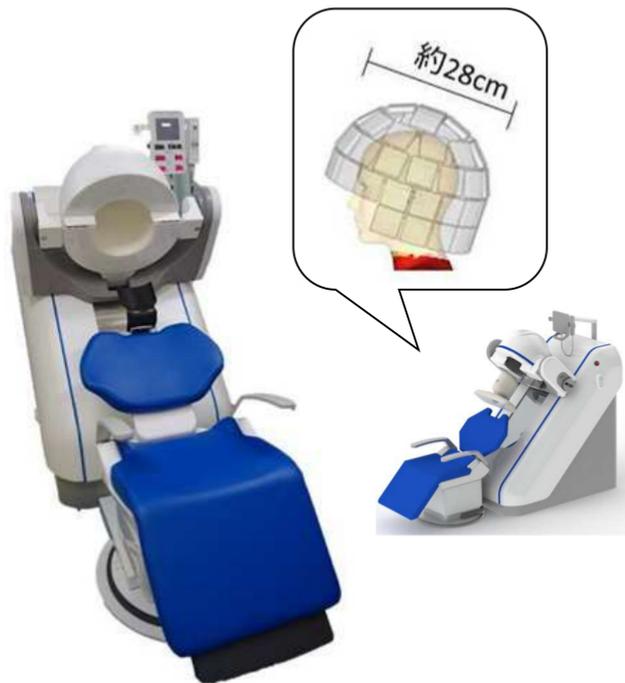


⇒複数のコラボレーションパートナーとのプロジェクトが進行中

#### ●具体的な製品例（一部）



## 世界で初めて半球状の検出器配置を採用した「頭部専用PET装置Vrain®」を受託・製造



©(株)アトックス 「頭部専用PET装置 Vrain®」

株式会社アトックス社と国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構が共同開発・製品化

- 2021年10月7日 「頭部専用PET装置Vrain®」の医療機器承認
- 2022年1月18日 株式会社アトックス様より国内販売開始
- 「頭部専用PET装置Vrain®」の特長
  - ① 脳腫瘍やてんかんの検査
  - ② アルツハイマー病をはじめとする認知症の診断に期待

株式会社アトックス様からは、各種業界に展開する当社の高精度・高品質の精密加工装置・検査装置の生産技術を高くご評価いただいております。

当社が有する各種産業向けのレーザシステムや各種装置の組み立て能力、及びレーザ光源を活用した医療機器製造における国内外での多くの実績をご評価いただき、本製品を受託・製造し、既に納品させていただいております。

高齢化の進むわが国において、今後の長寿社会・健康増進の実現に向けて、光技術を活用した医療機器の製造等を通じて、社会に貢献してまいります。

## 人材育成&社会貢献を中心に、持続的な企業価値創出の原動力を増強

### 事業継承・中核人材育成

#### ①次世代経営幹部の育成

- ・経営幹部育成： 海外グループ会社&国内関連会社役員登用
- ・次世代幹部候補育成： 計画的育成+年数回取締役会での発表

⇒実際の経営判断を経験する機会の拡大による経営視点の強化

#### ②当社オリジナル人材教育研修の拡充

- ・女性社員活躍推進： Working Women's Summit (WWS)
- ・中堅社員育成： Middle Class Summit (MCS)
- ・若手社員研修： Young People Summit (YPS)

⇒経営方針の浸透、人的交流の促進、主体的なキャリア意識の醸成



海外展示会での  
人的交流



社内オリジナル研修  
(YPS)



社内オリジナル研修  
(WWS能登工場視察)



国内外の光学技術者  
育成に向けた教育

2024年度 シグマ光機株式会社 サプライヤー サステナビリティ調査票

企業情報 記入欄	年 月 日 ( )
会社名	
住所	
業 種	
会 社	
業 務	
担当者	
メールアドレス	

サステナビリティ調査票  
(CO2排出量集計含む)



東京本社  
非化石燃料電力に切り替え

### 社会貢献

#### ①持続可能な企業活動に向けたサステナビリティ推進

⇒「統合報告書」によるステークホルダーへの情報提供と対話強化

#### ②教育分野&医療・介護・福祉&エネルギー関連

⇒国内外での理系人材及び光学人材育成の継続

⇒当社サプライヤーチェーンのCO2排出量の把握・削減協力要請

⇒東京本社の電力契約切替（非化石燃料証書付き電力）

## 国家PJ&研究機関

- 最先端分野向け非磁性機器対応中
- 量子研究向け光学ユニット対応中
- 量子研究向け  
高精度アライメントシステム継続



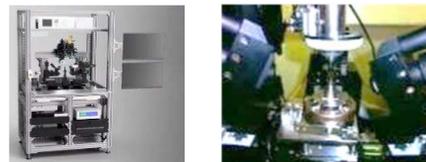
## 半導体&FPD

- 半導体向け設備組込製品、  
高精度光学ユニットの需要継続
- 半導体検査向け対物レンズの  
OEM製品の開発終了し販売展開



## 通信・車・アライメント

- 通信デバイス向け  
高精度アライメントシステム増加
- 海外装置メーカー向け姿勢制御向け  
OEMセンシング製品の販売展開



## メディカルフォトンクス

- 医療用検査システム装置製造
- バイオ向けユニットの需要回復増
- 医療機器・健康ガジェット機器開発



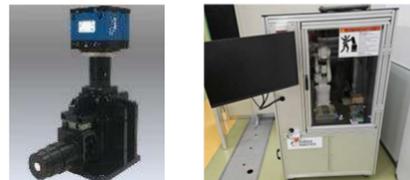
## 防衛・航空宇宙

- 防衛向け光学ユニットが安定継続
- 国内外向け航空宇宙関連製品の  
需要継続



## その他産業装置等

- 物流向け業務アシスト製品を対応中
- 放射線分野向け測定装置を対応中
- AI・ロボティクス自動化装置の内製

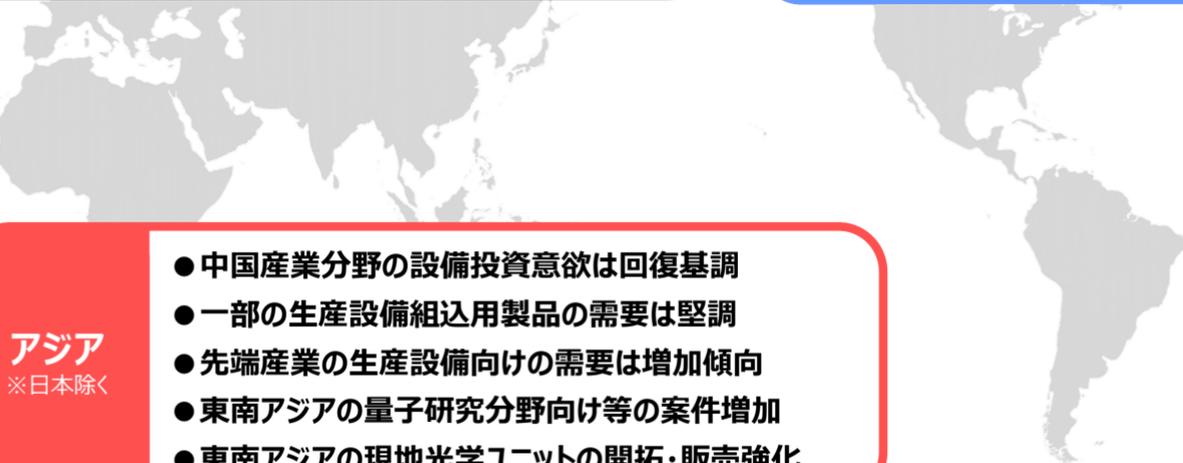


## 欧州

- 欧州経済は先行き不透明な状況続く
- 研究機関向け大口/高難度チャレンジ案件の受注フォロー中
- バイオフォトニクス向け製品の受注フォロー中
- ドイツ孫会社を中心に新規案件獲得活動の強化
- 防衛・航空宇宙分野向けの案件増加

## 北米 ・南米

- 米国経済の先行き不透明も案件は徐々に増加
- 半導体有望顧客からの光学ユニットの引き合い増加
- メディカル分野向けの光学ユニットの継続フォロー
- バイオサイエンス分野向けの光学ユニットの案件開拓
- 農業向け光学ユニットの需要継続
- 国家PJ等、高難度チャレンジ案件継続フォロー

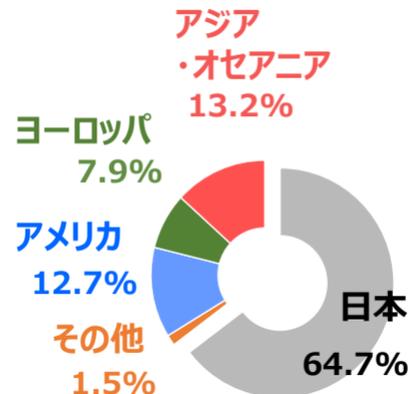


## アジア

※日本除く

- 中国産業分野の設備投資意欲は回復基調
- 一部の生産設備組込用製品の需要は堅調
- 先端産業の生産設備向けの需要は増加傾向
- 東南アジアの量子研究分野向け等の案件増加
- 東南アジアの現地光学ユニットの開拓・販売強化

(参考)2025年5月期通期  
販売先別売上高構成比



# 目次

## 1. 2025年5月期通期 決算概要・2026年5月期通期見通し

取締役 管理本部長兼経理部長

石井 康之

## 2. 中期経営戦略・主要マーケット別2026年5月期通期見通し

執行役員 総務部長兼経営企画グループリーダー

本多 隆

## 3. 質疑応答

# ご清聴ありがとうございました。

本説明会にて提供させていただいた情報および本資料内に記載されている当社グループに関する業績予想、方針、経営戦略、目標等に関しては、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。

よって、今後様々な要因により将来の見通しに関する記載事項や予想数値等が変化することが考えられます。すなわちこれら記載事項や予想数値等はその性質上、将来そのとおりに実現するという保証は致しかねますのでご留意ください。

# 補足資料

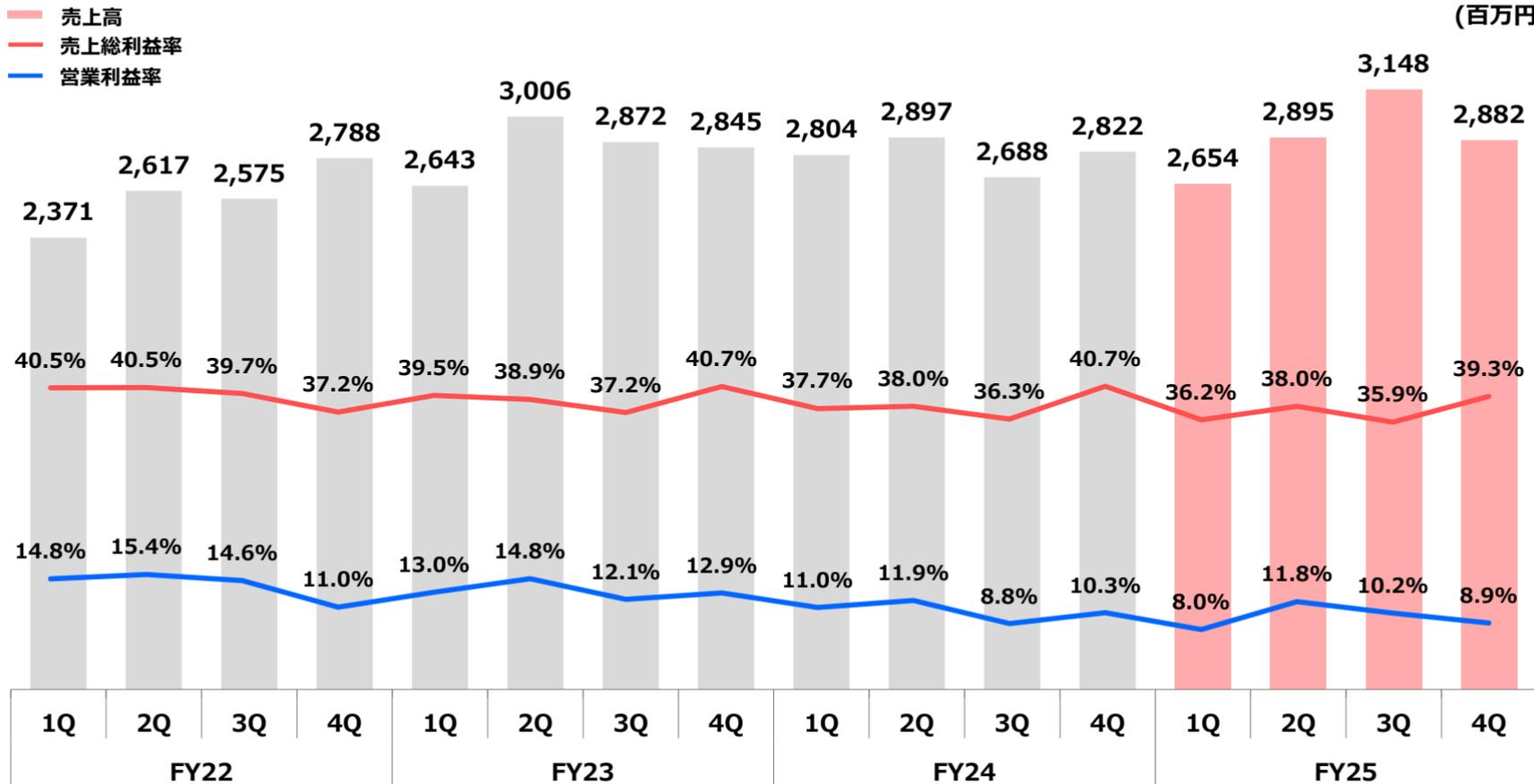
# 四半期別セグメント別売上高・営業損益

売上高 【百万円】	FY24'1Q	FY24'2Q	FY24'3Q	FY24'4Q	FY25'1Q	FY25'2Q	FY25'3Q	FY25'4Q
	実績							
要素部品事業	2,333	2,354	2,186	2,340	2,314	2,428	2,648	2,365
光学基本機器製品(HW)	717	706	660	645	702	727	776	792
自動応用製品(MS)	461	514	426	468	423	438	536	461
光学素子・薄膜製品(OP)	1,155	1,133	1,100	1,226	1,188	1,263	1,336	1,111
システム製品事業	493	555	527	512	355	494	528	542
光学システム製品(SY)	493	555	527	512	355	494	528	542
消去	△21	△12	△25	△29	△14	△27	△29	△26
合計	2,804	2,897	2,688	2,822	2,654	2,895	3,148	2,882

営業損益 【百万円】	FY24'1Q	FY24'2Q	FY24'3Q	FY24'4Q	FY25'1Q	FY25'2Q	FY25'3Q	FY25'4Q
	実績							
要素部品事業	407	398	307	402	352	477	445	366
システム製品事業	38	74	57	52	△12	5	18	61
消去	△138	△128	△128	△165	△127	△143	△142	△171
合計	307	344	236	289	212	340	321	256

# 売上高・利益率推移

(百万円)



## 売上高

【百万円】

			FY23	FY24	FY25
シグマ光機	本社：日本	開発、販売、生産	9,454	9,287	9,380
OptoSigma	本社：アメリカ	販売	2,059	1,807	1,796
OptoSigma Europe	本社：フランス	販売	689	784	944
SHANGHAI SIGMA KOKI	本社：中国	生産	874	612	928
OptoSigma Southeast Asia	本社：シンガポール	販売	146	222	255
消去又は全社			△1,857	△1,501	△1,725
連結			11,367	11,213	11,580

## 営業損益

【百万円】

			FY23	FY24	FY25
シグマ光機	本社：日本	開発、販売、生産	1,708	1,545	1,529
OptoSigma	本社：アメリカ	販売	149	59	△83
OptoSigma Europe	本社：フランス	販売	△6	7	39
SHANGHAI SIGMA KOKI	本社：中国	生産	109	6	100
OptoSigma Southeast Asia	本社：シンガポール	販売	△2	△2	△5
消去又は全社			△454	△438	△450
連結			1,504	1,178	1,131

# 売上原価の推移

【百万円】	FY23		FY24		FY25		
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	YoY
売上高	11,367	100.0 %	11,213	100.0 %	11,580	100.0 %	+3.3 %
売上原価	6,926	60.9 %	6,928	61.8 %	7,254	62.6 %	+4.7 %
材料費等	4,386	38.6 %	4,614	41.2 %	4,550	39.3 %	△1.4 %
労務費	1,779	15.7 %	1,754	15.6 %	1,928	16.7 %	+9.9 %
減価償却費	247	2.2 %	248	2.2 %	300	2.6 %	+20.7 %
その他	513	4.5 %	310	2.8 %	475	4.1 %	+53.4 %
売上総利益	4,440	39.1 %	4,284	38.2 %	4,325	37.4 %	+1.0 %

# 販売管理費の推移

【百万円】	FY23		FY24		FY25		
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	YoY
売上高	11,367	100.0 %	11,213	100.0 %	11,580	100.0 %	+3.3 %
販売管理費	2,936	25.8 %	3,106	27.7 %	3,194	27.6 %	+2.9 %
販売促進費	369	3.3 %	401	3.6 %	354	3.1 %	△11.6 %
広告宣伝費	114	1.0 %	100	0.9 %	98	0.9 %	△2.0 %
人件費	1,290	11.4 %	1,342	12.0 %	1,448	12.5 %	+7.9 %
減価償却費	90	0.8 %	81	0.7 %	62	0.5 %	△23.7 %
試験研究費	366	3.2 %	339	3.0 %	335	2.9 %	△1.2 %
その他	705	6.2 %	840	7.5 %	895	7.7 %	+6.5 %
営業利益	1,504	13.2 %	1,178	10.5 %	1,131	9.8 %	△4.0 %

## 主要設備投資

○FY23実績	
・白山技術センター増築(当期支払分)	2.8 億円
・光学素子設備投資	2.1 億円
・能登工場増築(当期支払分)	1.5 億円
・オプトシグマ設備投資	0.6 億円
・上海シグマ光機設備投資	0.5 億円
○FY24実績	
・オプトシグマ新社屋リノベーション・設備投資	4.8 億円
・能登工場増築(当期支払分)	3.1 億円
・白山技術センター増築(当期支払分)	1.5 億円
・情報システム投資	0.4 億円
・上海シグマ光機設備投資	0.4 億円
○FY25	
・オプトシグマ新社屋リノベーション・設備投資	1.4 億円
・基本機器設備投資	0.6 億円
・検査測定機器	0.5 億円
・能登工場増築(当期支払分)	0.4 億円
○FY26見込み	
・光学素子設備投資	1.7 億円
・能登工場設備投資(基本機器・光学素子)	1.2 億円
・販売ウェブサイト改修	0.6 億円
・上海シグマ光機設備投資	0.6 億円
・オプトシグマ設備投資	0.5 億円

## 研究開発費補足説明

【百万円】

### ○人件費等

人件費等		研究開発費 (人件費込み) 売上高比率
FY23	300	3.2%
FY24	265	3.0%
FY25	266	2.9%
FY26見込	276	3.3%

### ○部材費

	自社	うち産学官連携
FY23	65	20
FY24	73	24
FY25	68	35
FY26見込	113	17